




2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

写真提供: 地之上 協会員

Rotary  **倉敷南ロータリークラブ**
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 2940 例会 R. Song 「奉仕の理想」 天候：晴れ No.2940/2023. 10. 6

Guest なし Visitor なし

出席 会員数 59名（うち出席規定免除者 16名@2名①14名）

10/6の出席率 74.00%（出席者 37名、内①7名）

欠席 安藤、浅見、井上、石本、草野、中川、沼本、鳶田(晴)、滝川、渡辺(英)、
柳楽、横道、吉住、各会員（13名）

●土井会長

- ・ロータリー米山記念奨学会寄付の感謝状が届いています。渡辺祐三会員9回目。
- ・倉敷中央病院の循環器内科の医師と話をする、この季節、急性心筋梗塞、心痛、脳卒中の患者さんが増えてくるらしいです。人間は天気の変化、気温の変化、気圧の変化に対して非常に弱く、デルターが弱いのです。大体が血管病なのでプラークと言って動脈が凸凹になったところが破れることによって、そこにできた血の塊が血管を巡り脳卒中や脳梗塞や心筋梗塞になるわけです。身体の脆弱な部分が気圧の変化、天気の変化に関係するのですが、それを知っている私は「今日は患者がくるぞ」と待ち構えることもありました。胸が痛いとか手が動かないとか体調に変化がでたら、直ぐ病院へ行くことが大切です。
- ・先日、プログラム委員会の決起集会にお招きして頂きました。例会を更に盛り上げるため、いろいろ知恵を出し合って活性化していこうと思っています。親睦委員会、あるいは各委員の協力を得ながらゴルフ(会長杯)、陶芸教室、歓迎会などを企画していきます。
- ・来年1月27日(土)にOBOG会が東京で開催されます。皆様のご都合もあろうかと思いますが、うまく調整して頂きロータリアンとして活動を楽しんで頂きたいと思っています。

●幹事報告(山本幹事): '23年10月のロータリーレート1ドル/149円、他来信4件

●出席委員会(亀岡委員長):出席率は74%、本日のフードロスゼロです。

●親睦・家族委員会(三宅(繁)委員長):10月お誕生日の方は、馬場、浅見、安藤、佐藤、中西、小野田、草野、永井、山本(由)、各会員9名です。

●雑誌記録委員会(中西委員長):ロータリーの友10月号の記事紹介(雇用と障害、等々)

●プログラム委員会(流田委員長)

・先週の金曜日、プログラム委員会のキックオフミーティングを行い、例会プログラムについて話し合いを行いました。土井会長年度の「エンジョイロータリー」をより具体的に実践するため、出席率の向上、コミュニケーションの充実を図り、新会員の獲得、倉敷南 RCらしさがPR できる魅力や楽しみのあるプログラムにするという方向性で決めました。①ゲスト卓話の充実(皆様に、ご要望、ご紹介をお願いしたい)②イニシエーションスピーチの早期実施(ゲスト卓話とのバランスをとる)③会員各社の活動報告、プレス発表内容共有等のタイムリー実施、個別にコメントを取らせて頂き、内容、希望等々を教えて頂ける環境も整えたい。

●スマイル報告(小田 S.A.A)

・土井会長、山本(由)幹事:三宅典一会員の卓話を楽しみにしています。米山記念奨学生について勉強させていただきます。

・関家会員:先日、倉敷中央病院リバーサイドで検診を受けました。多くの方が受診されていましたが、各担当の方々が出てきばきと動かれ、それを統括されるフロアリーダーの方が周囲を見て采配する姿は恰好良かったです。ご担当の方から挨拶もいただきました。

●プログラム卓話「米山月間に因んで」三宅典一 米山記念奨学委員長

・9月24日に松江にて米山記念奨学委員長研修会が開催されました。今日配布の「ロータリー米山記念奨学事業」豆辞典を読んで下さい。研修会委員長より、①対談内容をクラブに持ち帰り会員の皆様にご理解いただくこと ②寄付の拡充をお願いすること ③米山は国際親善という部門で所得評価されていますので国際市民を充実させましょう、の3点。

・米山は日本のロータリー全地区における国際奉仕事業という位置づけを持っています。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー活動のよき理解者となる人材を育成することを使命としています。日本で学ぶ外国人を何故支援するのか?という議論が出るのですが、その背景には、二度と世界大戦のような悲劇を繰り返さないために栄華日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという戦後のロータリアン達の強い願いがあったとのこと。これは現在、民間最大の国際奨学事業ということになっています。

・米山奨学制度の特徴は、世話クラブ、カウンセラー制度で交流を図っているところです。奨学生は月一度ホストクラブの例会に出席し、会員との交流により日本の文化、社会を知り、ロータリーの奉仕の精神を学び、奨学期間終了後は米山学友会に入会し、学友として国際ロータリーのコミュニティに参加することができます。

・カウンセラー報告(青井会員):マレーシア出身のリー・シューチンさんのカウンセラー担当をさせていただきました。当時、リーさんは倉敷芸術科学大学の4回生で、現在は山本幹事の会社に勤務されています。お仕事の状況を伺うと毎日楽しく仕事をしています。との事。

例会プログラム予定:2023年10月13日(金)「古代三都物語 卑弥呼はここ倉敷の出身か?倭国誕生に果たした吉備の役割とは?」近重博義 様(楯築ルネッサンス協議会事務局)/2023年10月20日(金)イニシエーションスピーチ 小野田久彦会員